

少年の日の夢のせて

北州市立白州中学校
学校だより
令和3、3、25
NO、14
文責 白倉美奈子



4月6日の入学式は新1年生と3年生のみが参加、7日の始業式は放送で。新学期が始まって3日で休校に。かつて経験したことの無い事態から始まった令和2年度でしたが、感染症予防の対策を立て、その範囲の中で最大限できることに取り組んできた一年となりました。3年生にとって最後の授業であった卒業式も、厳粛で感動的なものとなり、涙をこらえて熱唱する卒業生の姿がまぶたの裏に焼き付いています。1、2年生も卒業生を送り出した寂しさはあるものの、上級生になる自覚がひしひしと感じられます。

「我慢やあきらめ」よりも「新しいやり方や伝統の創造」という前向きな気持ちで生徒も教職員もコロナ禍を乗り越えてきました。保護者の皆様にも支えていただき感謝の気持ちで一杯です。

明日からは春休みです。この一年間の生活を振り返り、今年度の初めに立てた目標が達成できたかどうかしっかりと確認してください。そして、次の学年での目標や努力する点をはっきりさせておいてほしいと思います。これからも「より良い自分」「より良い学校」を目指して、互いに助け合い、切磋琢磨しながら頑張っていきましょう。

3年生を送る会

3月5日に3年生を送る会を行いました。新生徒会を中心に1、2年生全員が「総務」「会場装飾」「記念品」「スライド」の4つの部門に分かれ、3年生と創る最後の生徒会行事を成功させようと、熱心に準備に取り組んできました。本番は、1、2年生から3年生1人1人への「感謝」の思いが伝わる、素晴らしい会になりました。白州中学校だからできる温かい3年生を送る会になったと思います。





2年生 防災学習会

2年生は3学期に「身近な地域の防災」について総合的な学習の時間で学習しています。3月9日には、堀内弘元校長先生をお招きして昭和34年の台風で被災したときのお話を伺いました。先生からは、「中学生は自分の身を守るとともに、地域の人たちの安全を守るためにも力を発揮してほしい」とのお言葉をいただきました。また、地震や洪水等の自然災害に備えるために自宅付近のハザードマップも作成しました。いつ起こるか分からない災害を忘れないためにも、地域の皆様の御協力を得ながら、学校でも継続して学んだり、訓練したりしていきたいと考えています。



「令和3年度山梨県教育指導重点」

2 / 12 (金) に、山梨県総合教育センターにおいて、山梨県教育委員会による「令和3年度山梨県教育指導重点」の説明がありました。

「山梨県教育大綱」、「山梨県教育振興基本計画」の方向性に基づいて、来年度は、以下のことに重点をおきながら、県内の中学校において教育が進められていきます。

○ 学習指導要領の趣旨や内容に基づいた適切な教育課程を編成し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善及び評価に取り組み、新しい時代に必要となる資質・能力の育成に努める。

(見方・考え方を働かせた学習過程の重視、教師と生徒が共有した適切な評価の実施、一人一台端末等のICTの効果的活用、読解力・記述力の向上、9年間を見通した教育課程の編成)

○ 豊かな心の育成を目指し、校種を越えた連携や学校教育活動全体を通じた取り組みを推進し、いじめを許さない集団づくりと安心できる環境づくり及び不登校児童生徒一人一人に対応した切れ目のない組織的な支援に努める。

(感染症に対する組織的な支援、自己肯定感を育む学級経営、不登校生徒一人一人に対応した学校)

○ 学校教育活動全体を通じて、自ら運動を実践する態度を育成し、体力向上を図り、食育並びに心身の健康の保持増進及び安全に関する指導を相互に関連させながら、望ましい生活習慣の形成に努める。

(感染症への正しい理解と適切な行動)

○ 地域の特色を生かした学習活動を通して、郷土への理解を深めることができるようにすると共に、児童生徒一人一人がグローバルな視点を持ち、社会的・職業的自立に向け、将来に必要な基盤となる能力や態度の育成に努める。

(やまなしキャリア・パスポートの活用)

○ 特別支援教育に関する専門性の向上を図り、多様な学びの場(通常学級・通級による指導・特別支援学級・特別支援学校)における教育の充実に努める。